

## おの100からの学び

私は、おの100に4年間参加しました。この文章を書いているのは、社会人1年目が終わろうとしている時です。改めておの100のことを振り返り、社会人2年目に向けた決意を固めることができればと思います。また私の経験などが少しでも何かの参考になれば幸いです。

私はおの100に4年間参加しました。おの100の活動のなかで“挑戦”という言葉をよく耳にしますが、私にとっての“挑戦”はおの100という場、それ自体だったように今振り返れば思います。大学1年でおの100に入った時、すごく戸惑いました。同期や先輩は、明るくハキハキしている人が多く、エネルギーに満ち溢れていて、とんでもない団体に入ってしまった！と思いました。周りとの差が大きいと感じてしまい、そんな風に思ってしまう自分が嫌で仕方なく、どうすればよいのか、とずっと不安な気持ちを抱えていました。周りに追いつくためにはどうすればよいのか、といろいろ考え、自分が思いつく限りとにかく行動に移そうと決めました。できないことがあるのなら、少しでもできるようになろうと心で決めました。自分が動かないといけない！と自分自身を追い込んでいた（鼓舞していた）部分も少なくともありますが、それが私にとっての良い起爆材料でした。できるだけ推進メンバーには立候補したり、協賛訪問の機会には、参加できるところには極力参加するようにしたり、学生への発信を頑張ってみたり……。ちょっと無理して、（意地になって）やっていた部分もありますが、自分なりにがむしゃらに、ひたむきに動いてみたなかで得た気づき・学びはすごく濃く、今でもとても大切なものです。

そしてそんな私のことをたくさんの方が支えてくれました。不器用な性格で人づきあいもそれほど上手ではない私が4年間活動できたのは、学生スタッフや社会人スタッフの皆さんのおかげです。ここはすごい！やここはもっと頑張れる！ということをたくさん伝えてくださいました。また本当にありがたいことに、至らない点が多かった私のことを目標に頑張ってくれる後輩もいました。もちろん自分自身の成長のために頑張ってきたことはありましたが、その頑張りが誰かの役に立っていたということはとても誇らしく、嬉しいことです。私のことを私以上に観てくれている人がいて、支えてくれる、こんな場所で活動できたことは、本当に貴重なことでした。

今は、公務員として、総務（職員の給与・手当、勤務時間の管理をメインに）の仕事をしています。社会人になり1年近くが経とうとしている今でも、仕事でうまくいくこともあれば、失敗することもあります。自分はなんて情けないんだ！と心の中で葛藤はありますが、やってみないことには、何も始まらないので、自分なりに考えて動いてみることを最近は大切にしています。また公務員は仕事の性質上、組織で動くこととなります。公務員がいいなぁと思ったのは、おの100の影響が少なからずあります。個人としての力量が求められる部分もありますが、何よりも組織全体として動いているという団結感に支えられているようにも感じます。

研修やメールなどで現役生の活躍を見ていて、私自身もまだまだ挑戦しなくてはならないと励まされることもあります。学生の時と比べて、社会人の時のほうがわからない、まだできないと感じることが多いように感じます。ただそれは、成長のチャンスがあるということだと思っているので、現状に満足することなく挑戦し続けていきます。そして、周りに何かしらの影響を与えられるような人でありたいと思います。過去を悔いることなく、タフに常に前を向いていけるように頑張ります！